

# 居住環境が余暇活動と生活満足度に与える影響に関する研究

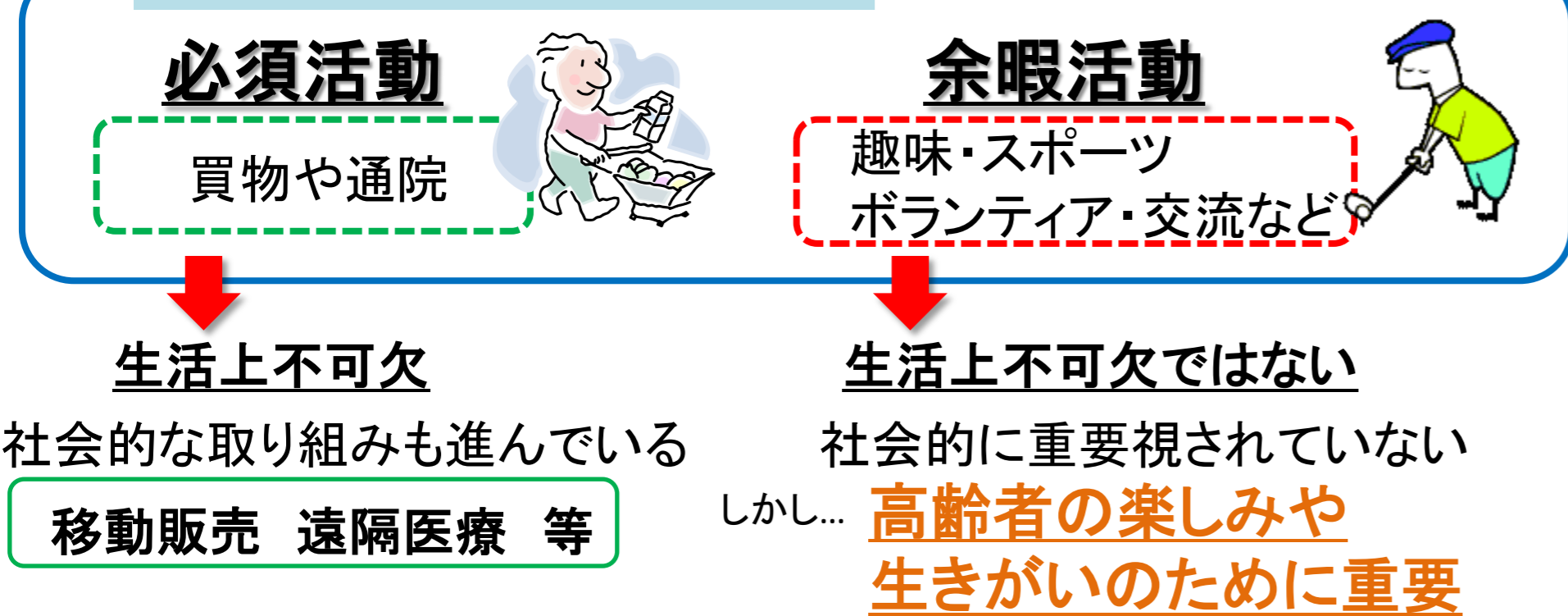
社会システム計画学研究室2013年度卒業研究 厚海尚哉

## 研究の背景

**近年** 平均寿命の延伸 → 高齢者のQOL向上が重要  
 高齢社会の進展 → 老年期が長期化

就業時間と引き換えに生じた**余暇時間の充実**の重要性が増している

### 定年後の高齢者の生活

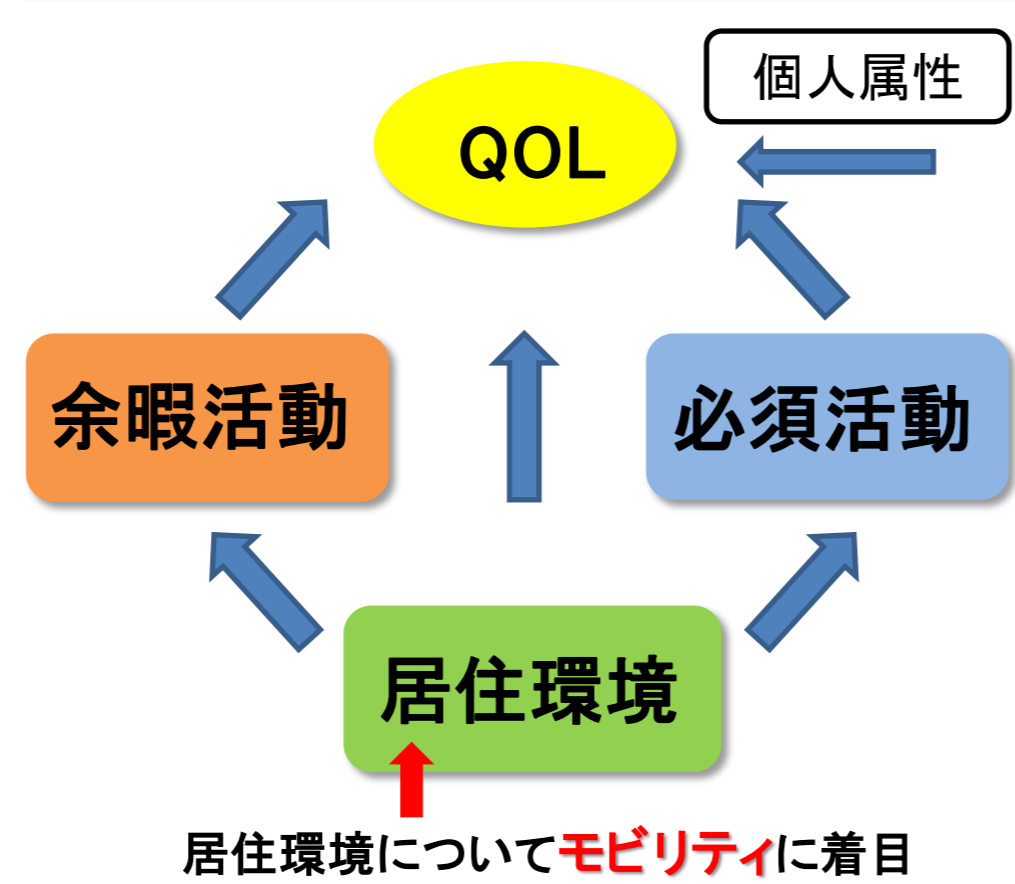


ゆとりある高齢期の生活の充実のために**余暇活動**に着目

## 研究の目的

高齢者のQOLをとりまく要素の想定図

- 居住環境の余暇活動への影響
- 余暇活動のQOLへの影響
- QOL向上に関わる要因把握

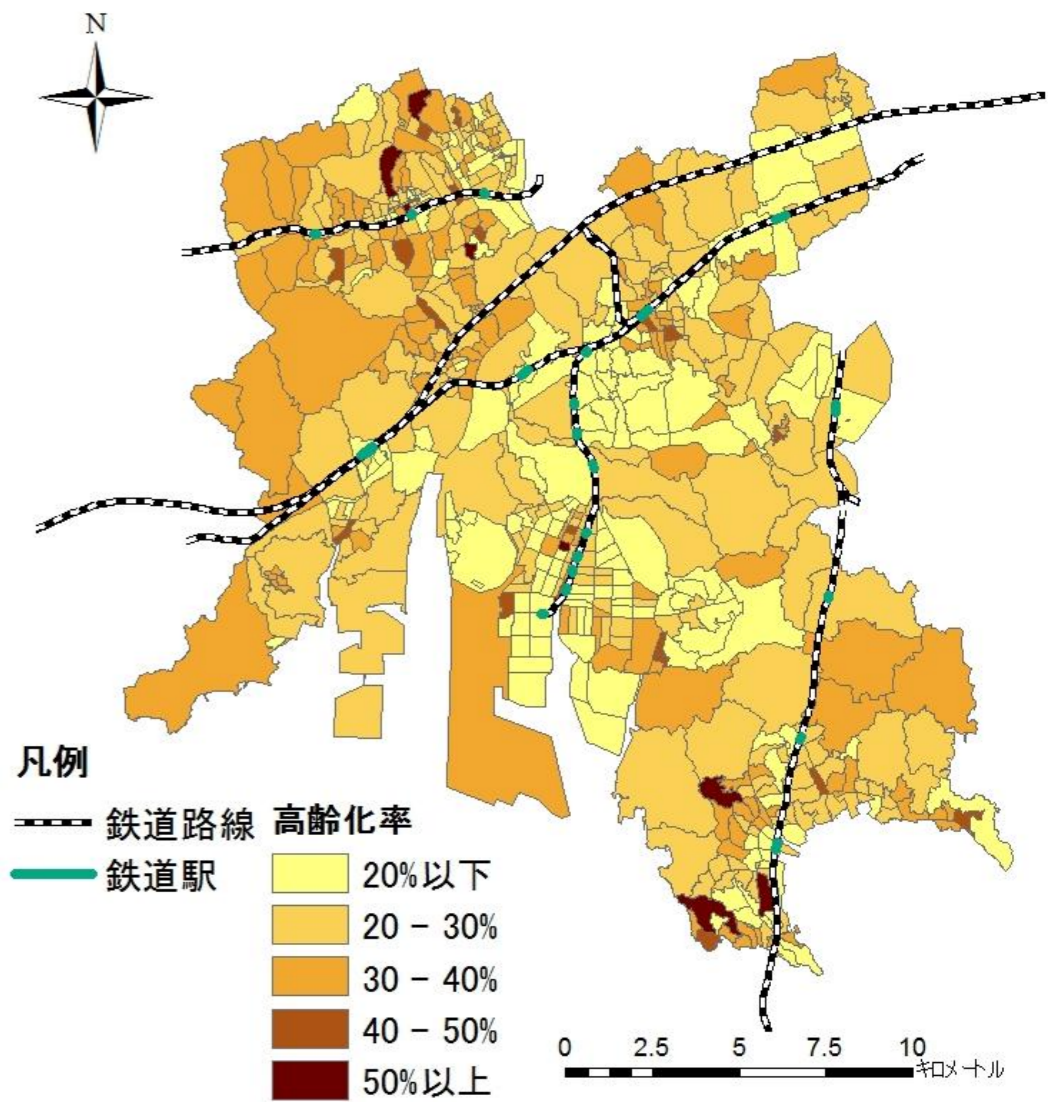


これらを検証・分析し高齢者の生活充実の知見とする

## 分析対象地域と使用データ

### 岡山県倉敷市

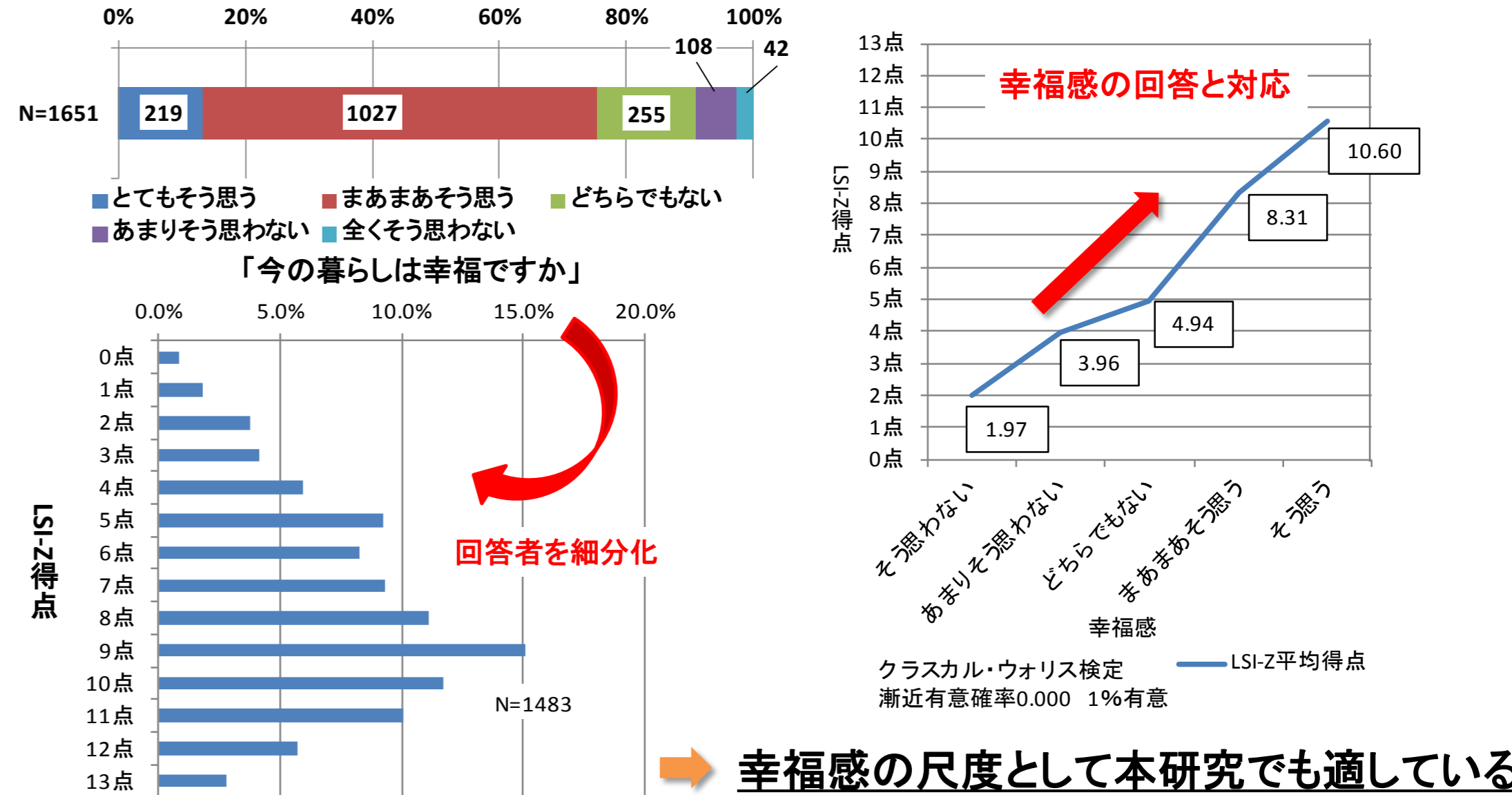
- 観光地、工業地、農村地など多様な地域性を有している
- 高齢者の生活の充実についての対策に力を注いでいる



調査名	
調査対象地域	倉敷市全域
配布・回収方法	55歳～85歳を対象に無作為抽出、郵送配布・郵送回収
調査時期	2013年12月
配布票数	3950部
回収票	1706部
回収率	43.2%
主な調査項目	●個人属性 ●余暇活動実施状況及び満足度 ●余暇活動実施に関する意識 ●買物・通院実施状況及び満足度 ●QOL評価 ●バスサービスレベルの評価

### QOL評価尺度について

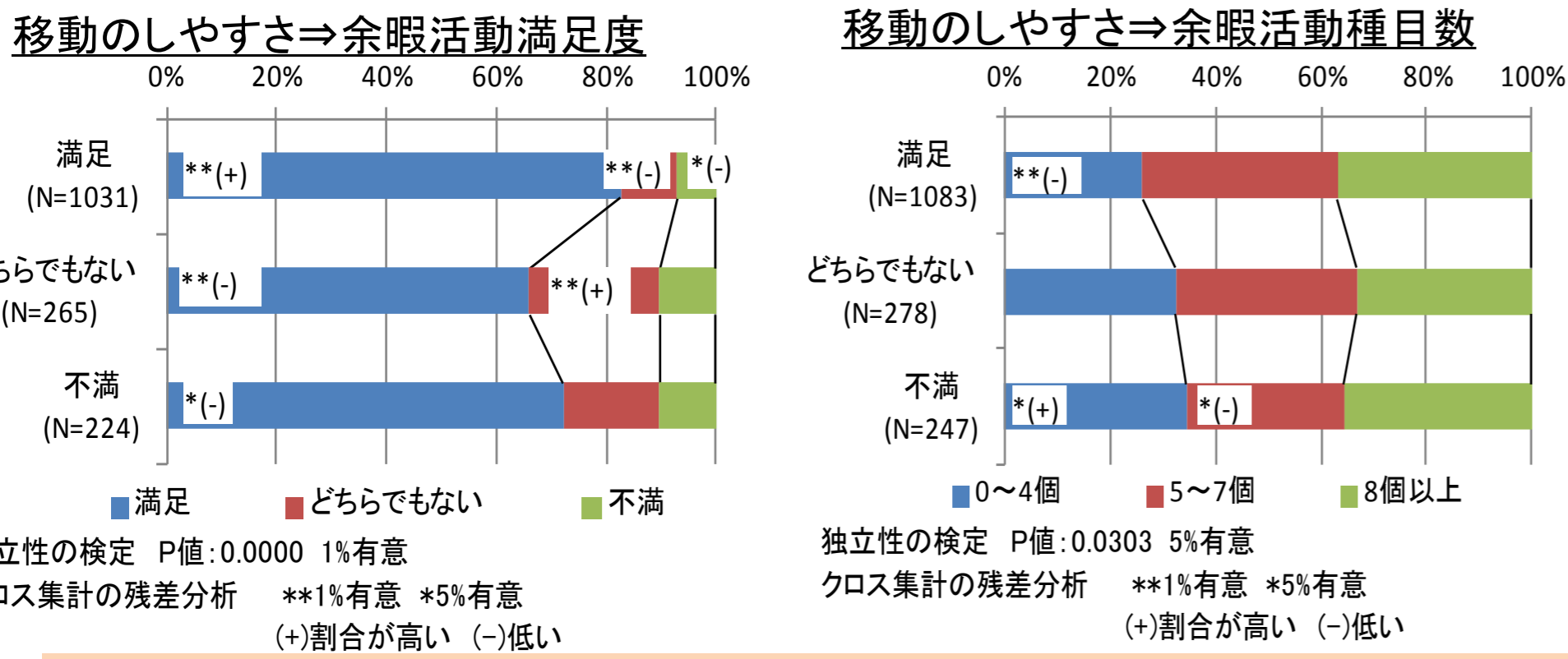
**LSI-Z(主観的生活満足度尺度)** → 高齢者の主観的な幸福感としてQOLをとらえる



## 分析結果

### D 居住環境(モビリティに着目)の余暇活動への影響

モビリティの指標として「移動のしやすさ満足度」を使用

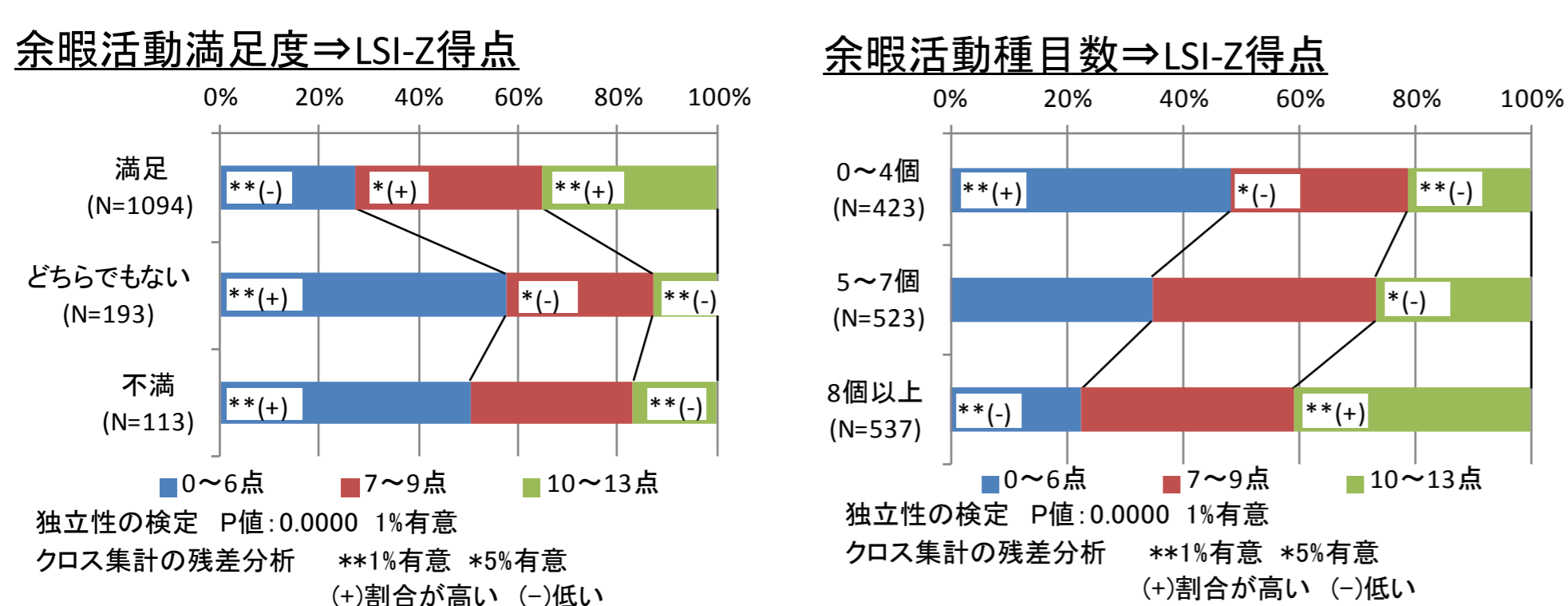


移動のしやすさ⇒余暇活動種目別選択率

55～64歳			
満足	満足でない	満足	満足でない
●散歩・回遊*(+)		該当なし	
●外食・会食*(+)			
65～74歳			
満足	満足でない	満足	満足でない
●スポーツ(個人や身内と)*(+)		●スポーツ(チームや団体で)*(+)	
●登山や釣りなどレジャー活動**(+)		●福祉センターや老人センター利用*(+)	
●ボランティア活動**(+)			
75～85歳			
満足	満足でない	満足	満足でない

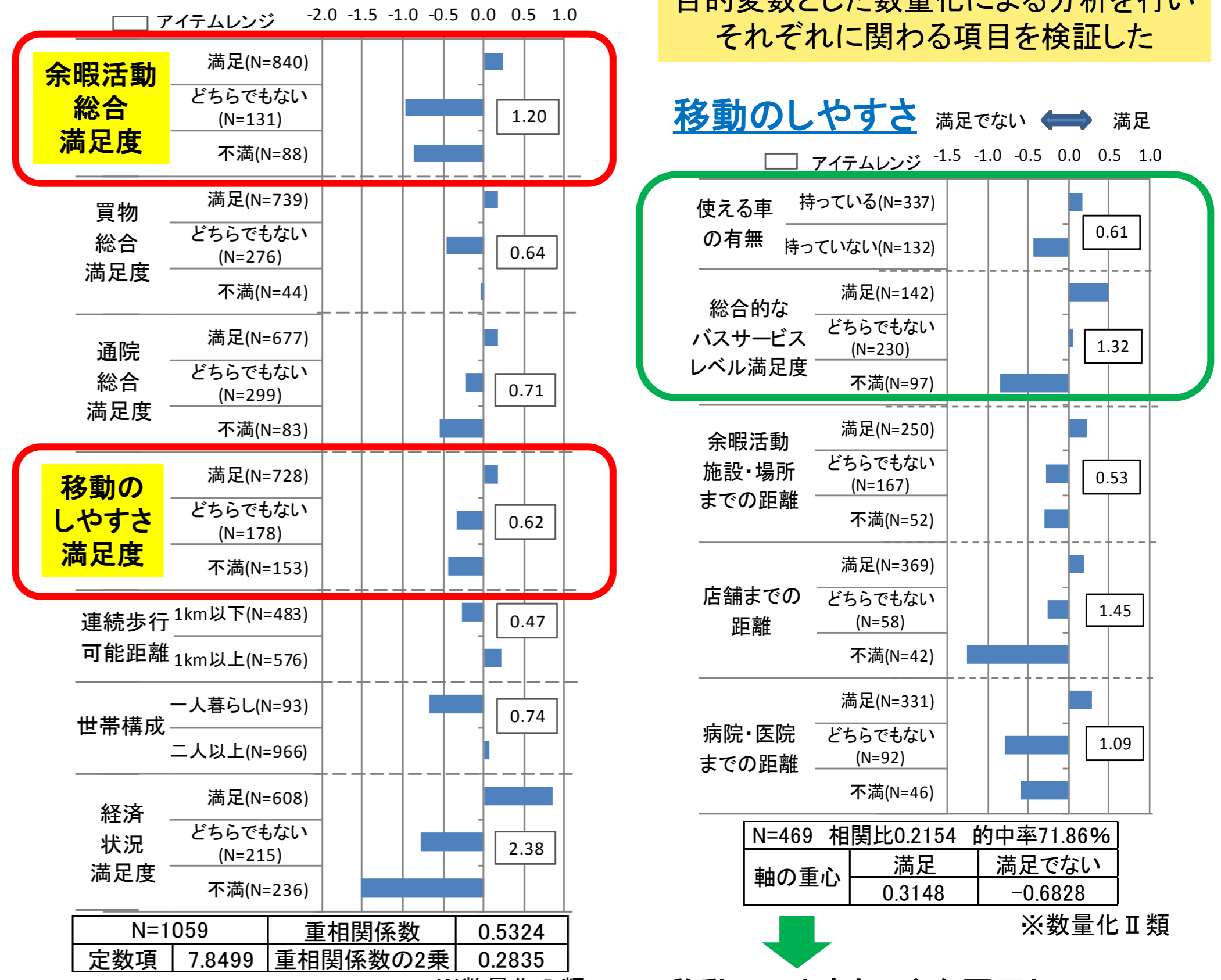
モビリティの満足度は余暇活動種目別選択率に一部関係している

### D 余暇活動のQOLへの影響



### D QOL向上に関わる要因把握

LSI-Z得点 低得点 ← 高得点



## 結論

- モビリティは余暇活動状況に影響を及ぼしている
- 余暇活動の充実がQOLの向上のために重要
- モビリティに満足出来ていることはQOLを向上させる高齢者のQOL向上のためには...

「余暇活動」・「必須活動」の充実  
 「モビリティ」「個人属性」が関わっている